あぷろうち
～ approach ～

日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人　金子　裕昭
編集人　新井　智

〒379-2166
群馬県前橋市野中町３６１番地２
（群馬県勤労福祉センター２Ｆ）
ＴＥＬ　027―263―0555
ＦＡＸ　027―261―0549
Ｅメール　info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL　http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2015年9月号
No.240

政策・制度要求と提言　群馬県知事に提出
～11分野23項目92の提言～

８月25日、群馬県庁において、2016年度「政策・制度要求と提言」を大澤知事に提出し、意見交換を行いました。

本年も、１万人を超える県民からの意識調査の集約結果を踏まえ、雇用問題をはじめ11分野23項目にわたって92の提言を政策要求に取りまとめています。

大澤知事に対し、北川会長から「提出して終わりではない。地域の活性化に向けて、連合も活動し実現していく」と要請しました。

提言内容について、分野ごと一部をご紹介いたします。

詳細はHPをご覧ください。

＜雇用労働・中小企業政策＞

（背景） 全国の非正規雇用労働者の割合は３割を超え、若年層は正規雇用労働者に就きたいものの「不本意非正規労働者」比率が高く格差拡大が広がっている。

（提言）「非正規雇用の形態で働く者、育児・介護等で退職をした女性労働者、県外で離職し群馬県で就職を目指す者などを対象に、正規労働者ニーズの高い職種に関連した訓練を実施すること」など

＜福祉社会保障（子ども子育て政策）＞

（背景） 子ども・子育てを社会全体で支える総合的な支援体制が求められているが、意識調査で子どもが病気になったときに、急遽休めない(25.0%)と４人に１人が困った経験がある。

（提言）「入院するに至らない病気の子ども、病気は回復してきているものの学校、幼稚園、保育所など通学・通園することが困難な子どもを保育する施設を公立病院に設置し、同様な施設を民間の病院・診療所に対して促進するよう働きかけること」など

＜福祉社会保障（医療政策・介護政策）＞

（背景） 2025年団塊の世代が75歳を迎える。全国的に医師・看護職員等の不足は深刻化しており、群馬県は人口10万人当たりの医師数は全国31位、平均より低い水準にとどまっている。また、介護分野は2025年11,601人の人材不足が推計され全国でワースト２位。

（提言）「『地域医療介護総合確保基金』事業（消費税から全国で904億円・介護724億円）において、市町村ならびに事業者（医療機関、介護サービス事業等）からの要請を受け止め取りまとめを行い、とりわけ人材確保に向けて、処遇や勤務環境の改善、キャリアアップできる仕組みの構築、専門性の向上をはかる研修機会の充実に資する事業に対し適切に計画案を反映し基金配分を行うこと。」など

＜経済政策＞

（背景） H26年３月に厳しい財政状況を克服しつつ新たな課題にしっかりと対応できる体制づくりを目的にした「群馬県行政改革大綱　～改革意識の浸透と実践～」が示される。

（提言）「県民ニーズを敏感に感じとり、新たな行政課題にしっかりと対応できる体制をつくることが目的となっており、県が取り組む施策が行政改革大綱に矛盾がないか点検を行っていくこと。」など

＜男女平等政策＞

（背景） 政府の「2020年に指導的地位に占める女性の割合30%」を踏襲しながらポジティブアクションの促進を打ち出し、女性活躍推進法が制定された。しかし、性差別貧困、M字カーブなどを放置・助長すれば女性の二極化に繋がりかねない。実態を直視し、一部の女性を管理職にする取り組みなどのように誤解を与えない施策の検討が求められる。

（提言）「政府が進める「女性の職業生活における活躍の推進に関する法」の施策内容の検討する中、一部の層に偏らず、非正規労働者・派遣労働者・就職活動中などすべての働く・働こうとしている女性が輝くことのできる施策を講じること。」など

★11,381名の声を集約　御礼★

今年の県民意識調査では11,381名の声を集約し、この声を中心に知事に「政策・制度言・要求」を提出することができました。

連合群馬は「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて取り組んでいます。知事に提出ができたから終わりではありません。明確になった課題をしっかりと踏まえ、今後の安心社会の実現に向けて前進をはかっていきます。

最後に、県民意識調査や提言策定に多大なご協力をいただきました県民のみなさんをはじめ産別・単組・組合員のみなさん、厚く御礼申し上げます。